

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月14日

上場会社名 健康ホールディングス株式会社
 コード番号 2928 URL <http://www.kenkou-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 瀬戸 健
 (氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

上場取引所 札

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,833	△22.3	211	△22.6	198	△23.7	111	△15.7
21年3月期第1四半期	2,360	—	273	—	260	—	132	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	364.88	364.80
21年3月期第1四半期	441.09	432.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	5,619	540	9.6	1,763.17
21年3月期	5,865	423	7.2	1,383.64

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 540百万円 21年3月期 423百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	3,770	△4.9	301	25.9	271	24.9	160	31.1	522.88
連結累計期間	7,241	3.5	441	22.5	392	24.4	210	47.9	686.28
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-------------|----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 306,400株 | 21年3月期 | 305,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 一株 | 21年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 305,996株 | 21年3月期第1四半期 | 300,100株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月20日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想につきましては、本資料において修正しております。その詳細につきましては、平成21年8月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1)業績

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機・経済危機による景気後退に、回復の兆しが見え始めたものの、企業収益や雇用・所得環境については、一部を除き未だ厳しい中で推移しております。

このような環境の中において、当社グループの主力事業である美容・健康関連事業での景気悪化の余波は比較的少なく、特に美容関連分野においては、女性用美容家電等を中心に、堅調に推移しております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、「美容・健康関連事業」と「食品関連事業」を主力事業に据え、この主力事業を支えるグループ各社が、事業強化に向けた販路拡大、新商品開発、相乗効果追求等に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高1,833百万円（前第1四半期連結会計期間は2,360百万円）、営業利益211百万円（前第1四半期連結会計期間は273百万円）、経常利益198百万円（前第1四半期連結会計期間は260百万円）、四半期純利益は111百万円（前第1四半期連結会計期間は132百万円）となりました。

(2)セグメント情報

①美容・健康関連事業

美容・健康関連事業は、大きく分けて「健康食品分野」と「美容関連分野」になります。

健康食品分野は、健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、健康志向の高まりや、肥満・生活習慣病等の増加を背景に、近年市場が拡大しております。

健康コーポレーション株式会社では「カロリーコントロール用健康食品」の販売を中心に事業活動を行っておりますが、平成19年第1四半期以降続いていた売上高の落ち込みに歯止めがかかったこと、効率の良い広告媒体に絞り込みができたことで、安定的な利益を確保できるようになっております。

美容関連分野は、株式会社ジャパングヤルズと健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、美容・健康に対する消費者意識の高まりや、ホームエステに対するニーズの高まりにより、確実に市場は拡大しております。

株式会社ジャパングヤルズにおける既存販路の拡大に加え、健康食品分野で培ったWEBプロモーション等の販売ノウハウを活かす施策が功を奏し、売上高と利益を伸ばしております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は1,196百万円（前第1四半期連結会計期間は1,319百万円）、営業利益は139百万円（前第1四半期連結会計期間は60百万円）となりました。

②食品関連事業

食品関連事業は、乳製品の受託加工及び製造販売事業を主たる事業とする、株式会社弘乳舎を中心に、行っております。主力となる余乳受託加工は、季節的要因により、売上高と利益が第1四半期及び第4四半期に偏重する傾向にあるものの、一年という期間で見た場合、每期安定した売上高と高い利益を出しております。

当第1四半期連結会計期間においては、余乳持ち込みが減少したものの、売上総利益率が上がったこと及び販売管理費の抑制により、食品関連事業での売上高は639百万円（前第1四半期連結会計期間は1,041百万円）、営業利益は124百万円（前第1四半期連結会計期間は290百万円）となりました。

尚、グループ全体としての売上高は1,833百万円（前第1四半期連結会計期間は2,360百万円）、営業利益は211百万円（前第1四半期連結会計期間は273百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、3,181百万円となりました。これは主として、借入金の返済により、現金及び預金が121百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、2,437百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、5,619百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.8%減少し、2,907百万円となりました。これは主として、短期借入金の186百万円減少、1年内返済予定の長期借入金の155百万円減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、2,171百万円となりました。これは主として、長期借入金の80百万円減少によるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、5,079百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて27.7%増加し、540百万円となりました。これは主として、利益剰余金の111百万円増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での足元の業績等を踏まえ、中間期（平成21年4月～9月）及び通期（平成21年10月～平成22年3月）の業績予想数値を修正いたしております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理

（一般債権の貸倒見積高の算定方法）

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（棚卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

（固定資産の減価償却費の算定方法）

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法）

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	716,413	837,619
受取手形及び売掛金	667,884	607,607
商品及び製品	686,934	716,061
仕掛品	9,669	13,818
原材料及び貯蔵品	267,429	335,446
未収還付法人税等	646,612	667,487
その他	191,236	205,762
貸倒引当金	△4,704	△5,345
流動資産合計	3,181,476	3,378,456
固定資産		
有形固定資産		
土地	907,724	907,724
その他(純額)	349,537	363,387
有形固定資産合計	1,257,261	1,271,111
無形固定資産		
のれん	942,397	973,512
その他	11,048	12,028
無形固定資産合計	953,445	985,541
投資その他の資産	227,195	230,060
固定資産合計	2,437,902	2,486,713
資産合計	5,619,379	5,865,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,865	244,797
短期借入金	1,149,938	1,335,958
1年内返済予定の長期借入金	950,252	1,106,094
未払法人税等	58,325	65,416
賞与引当金	42,479	63,462
返品調整引当金	12,156	12,156
その他	432,775	360,441
流動負債合計	2,907,792	3,188,326
固定負債		
長期借入金	1,832,720	1,912,889
役員退職慰労引当金	25,744	23,311
退職給付引当金	275,437	282,894
その他	37,447	34,630
固定負債合計	2,171,349	2,253,725
負債合計	5,079,142	5,442,052

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	112,232	111,272
資本剰余金	118,326	118,326
利益剰余金	303,593	191,940
株主資本合計	534,152	421,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	171	2,052
繰延ヘッジ損益	5,913	△473
評価・換算差額等合計	6,084	1,578
純資産合計	540,236	423,118
負債純資産合計	5,619,379	5,865,170

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,360,495	1,833,668
売上原価	1,260,570	909,761
売上総利益	1,099,925	923,906
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	270,794	340,447
その他	555,626	371,666
販売費及び一般管理費合計	826,420	712,113
営業利益	273,504	211,793
営業外収益		
受取利息及び配当金	737	24
受取賃貸料	2,180	781
その他	5,661	3,973
営業外収益合計	8,579	4,778
営業外費用		
支払利息	19,911	17,502
貸与資産減価償却費	1,500	86
その他	470	402
営業外費用合計	21,883	17,991
経常利益	260,200	198,580
特別利益		
固定資産売却益	19,970	—
その他	2,642	—
特別利益合計	22,612	—
特別損失		
投資有価証券売却損	2,124	—
固定資産除却損	2,078	—
子会社株式売却損	24,038	—
特別損失合計	28,240	—
税金等調整前四半期純利益	254,571	198,580
法人税、住民税及び事業税	163,403	58,326
法人税等調整額	△41,202	28,600
法人税等合計	122,200	86,927
四半期純利益	132,371	111,653

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254,571	198,580
減価償却費	29,294	22,190
のれん償却額	32,362	31,115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	411	△642
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,650	2,432
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,218	△7,456
固定資産売却損益(△は益)	△19,970	—
固定資産除却損	2,078	—
子会社株式売却損益(△は益)	24,038	—
投資有価証券売却損益(△は益)	835	—
受取利息及び受取配当金	△737	△24
支払利息	19,911	17,502
売上債権の増減額(△は増加)	△296,738	△60,277
たな卸資産の増減額(△は増加)	260,402	101,292
仕入債務の増減額(△は減少)	5,203	17,068
その他	△35,223	56,923
小計	290,310	378,704
利息及び配当金の受取額	737	24
利息の支払額	△31,039	△27,282
法人税等の支払額	△119,696	△71,310
法人税等の還付額	—	26,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,310	307,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,200	△20,200
有形固定資産の取得による支出	△10,036	△7,360
有形固定資産の売却による収入	359	—
投資不動産の売却による収入	46,506	—
投資有価証券の売却による収入	49,279	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,154	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	17,183	—
貸付けによる支出	△90,193	—
貸付金の回収による収入	93,521	216
その他	1,710	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	70,975	△27,343

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△184,956	△186,020
長期借入れによる収入	—	130,000
長期借入金の返済による支出	△334,748	△366,011
株式の発行による収入	—	960
財務活動によるキャッシュ・フロー	△519,704	△421,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△308,417	△141,405
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,111	788,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,311,693	646,905

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

IT・広告関連事業を行っていた株式会社アクディアの全株式を譲渡したことにより、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める健康関連事業の割合が、いずれも90%を超えるため、種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,196,504	637,164	1,833,668	—	1,833,668
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,325	2,325	(2,325)	—
計	1,196,504	639,490	1,835,994	(2,325)	1,833,668
営業利益	139,181	124,491	263,672	(51,879)	211,793

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業

(1)美容・健康関連事業・・・・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2)食品関連事業・・・・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

3 事業区分の変更

従来、事業区分は「健康関連事業」、「IT・広告関連事業」の2区分によっておりましたが、当連結会計年度より、「美容・健康関連事業」、「食品関連事業」の2区分に変更いたしました。

セグメント区分の変更の理由については、前連結会計年度に連結範囲の変更を伴う関係会社の異動があり見直したことによります。これは、当社の事業展開に基づく事業区分の見直しであり、事業領域の拡大によってセグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

(参考)

前第1四半期連結累計期間を変更後の事業区分に基づき作成すると次の通りであります。

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,319,169	1,041,325	2,360,495	—	2,360,495
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,319,169	1,041,325	2,360,495	—	2,360,495
営業利益	60,103	290,974	351,077	(77,573)	273,504

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業

(1)美容・健康関連事業・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2)食品関連事業・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

前四半期連結会計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当四半期連結会計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。